

令和6年度第2回舞鶴市近代化遺産保存審議会 議 事 録（要旨）

- ◆日 時 令和6年11月21日(木)13時45分から16時00分まで
- ◆場 所 舞鶴市役所別館6階 612会議室
- ◆出席委員 荻谷 勇雅 委員、木村 定雄 委員、岡田 昌彰 委員、吉岡 博之 委員、毛利 聡 委員、
西川 博美 委員(オンライン) 計6人
- ◆事務局 舞鶴市生涯学習部長 福田 伸一、生涯学習部 次長 三方 理江、
歴史文化まちづくり担当課長 松本 達也、近代化遺産係長 矢谷 明也、
同係 松崎 健太、林 二三代

1. 開 会

2. 開会挨拶 福田部長

3. 出席委員数と審議会の非公開について

鶴岡委員欠席、西川委員オンライン参加 7名中6名の出席

データベースの内容において個人情報（所有者）に関するものが想定されるで、非公開とする。

4. 協議事項

舞鶴市近代化遺産保存計画 データベース案と指針案について、事務局より資料に従って説明

○近代化遺産の実態の把握

- ・資料や文献による概要把握と随時現地調査
- ・現時点で約460件をリストアップ
- ・データベースを作成中

○データベースの区分・分類

- ・旧軍遺産と一般遺産に区分
- ・区分の中で大分類・小分類を設ける

○保存ランクと保存方針

- ・個別の遺産に対する現状や保存状態に応じた保存ランクを設定
- ・個別の遺産に対する保存指針を設定

○データベース個票ファイル 提示

○データベース分類の事例紹介

※遺産の所有者、使用状況、来歴、その他個人情報等を含むため議事録省略

【各委員より意見】

- ・区分「旧軍遺産」「一般遺産」の用語は適切か。基準は適切か。
- ・分類される基準は統一されているか、全国他市と比べてどうか。
- ・「近代化遺産」の定義をどうするか、年代で括するのか、学術的な定義が必要。
- ・保存ランクとして、経年変化、改修、補修などの変化や改変をどう捉えるか。
- ・保存ランク、保存指針の詳細な基準作りが必要。
- ・近代化遺産として所有者と共通意識を持つことが大切。そのための方法を考える必要がある。(プレート貼るなど)
- ・歴史や時系列がわかる名称、分類を考えてはどうか。
- ・解体や消失の恐れがある時、記録保存に取り組む基準や指針が必要。
- ・近代化遺産保存の機運を上昇させるために、この取り組みを市民に積極的に広報した方がいい。

【事務局から】

- ・一般遺産は全国統一分類をベースにしたが、再度検討したい。
- ・近代化遺産データベース・保存計画は、所有者に対して市の一方的なものにならないようにしたい。
- ・舞鶴として旧軍の特色をどう整理するのか要再考。
- ・データベースの最終形は全て項目を網羅することを目指す、随時更新を要することもあり、先ずは見てもらえる形で完成させ近代化遺産がどれほど残っているのか明らかにしたい。
- ・規模・図面・写真については適宜データベースに追加していきたい。
- ・近代化遺産の保存活用・データベース含め全国の先進的事例としてやっていきたい。
- ・機運を盛り上げるため、建造物に掲示するプレート等についてはよく検討する。
- ・広報については「広報まいづる12月号」で特集記事を出す。
- ・次回審議会までに今回のご指摘について方向性を各委員と相談させていただきたい。
- ・年度内にもう一度開催予定。